

事業成果報告書

1. 教育委員会名 : 牛久市教育委員会
2. 研究主題 : 小規模校を存続させる場合の教育活動の高度化
3. 研究タイトル : 国際理解教育とESD教育を柱とした「奥野学園構想」を実現し、魅力ある学校づくりにより児童生徒の増加を目指す
4. 研究課題 : ①少人数学習による英語教育及び国際理解教育の推進
②地域との連携を深めながら行う環境学習を核としたESD教育の推進

5. 事業の実績（平成27年度からの継続研究）

月	おくのキャンパス	奥野小	牛久二中	備考
4	◎全体構想確認	○国際理解教育年間計画の確認 ○イングリッシュタイム（15分×週3回 小・保育園） ○イングリッシュルーム開設（毎日昼休み） ◇総合的な学習の時間年間計画の確認	○国際理解教育年間計画の確認 ○英語教育少人数指導&ALT2名配置 ○インタラクティブフォーラム練習 ◇総合的な学習の時間年間計画の確認	◎放課後カップパ塾 ○土曜カップパ塾 ○日曜カップパ塾
5		○イングリッシュタイム ○イングリッシュルーム ○オレンジ市生徒スカイプ交流（6年 自己紹介等） ◇奥野地区生き物の道座学（3, 4年 NPO）	○英語教育少人数指導&ALT2名配置 ○インタラクティブフォーラム練習 ◇歩く会実施 ◇歩く会をもとにした地域の自然環境、住環境についての考察から課題設定活動（1学年）	◎放課後カップパ塾 ○土曜カップパ塾 ○日曜カップパ塾
6	◎小中合同研修会	○イングリッシュタイム ○イングリッシュルーム ○オレンジ市生徒スカイプ交流（6年 学校紹介等） ○英語学習ソフト（キンダーイングリッシュ）を活用した授業（4年） ◇奥野小ビオトープ観察（4年 NPO）	○英語教育少人数指導&ALT2名配置 ○インタラクティブフォーラム練習 ○英語検定 ○オレンジ市生徒スカイプ交流（3学年） ◇牛久市内で働く人について調べ、職業体験先の策定（第2学年）	◎放課後カップパ塾 ○土曜カップパ塾 ○日曜カップパ塾
7	◎ユネスコスクール申請 ◎小中合同研修会 ◎東京大学大桃先生視察 ◎ESD校長研修（立教大阿部先生） ◎おくのキャンパス推進委員会 ◎少子化・人口減少に対応した活力ある学校教育推進協議会第1回	○イングリッシュタイム ○イングリッシュルーム ○全校イングリッシュタイム（PTA授業参観） ○オレンジ市生徒スカイプ交流（児童クラブ フリートーク） ◇奥野地区自然探索（4年 NPO） ◇奥野地区歴史・文化探索（5年 奥野地区社協）	○英語教育少人数指導&ALT2名配置 ○インタラクティブフォーラム市内大会（7/11） ◇職業体験（2学年）	◎放課後カップパ塾 ○土曜カップパ塾 ○日曜カップパ塾
8	◎小中合同研修会 ◎おくのキャンパス推進委員会	○オレンジ市生徒スカイプ交流（児童クラブ フリートーク） ○イングリッシュルーム改装（タブレット、大型テレビ常設）	○インタラクティブフォーラム県南大会（8/3） ◇職業体験（2学年）	

9	<p>◎通学区審議会にて、来年度からの小規模特認校制度承認</p> <p>◎オレンジ市生徒ホームステイ・ホストファミリー募集</p> <p>◎おくのキャンパス推進委員会</p>	<p>○イングリッシュタイム</p> <p>○イングリッシュルーム</p> <p>○オレンジ市生徒スカイ交流（4年）</p> <p>◇奥野地区自然探索（4年 NPO）</p> <p>◇奥野小・牛久二中ピオトープ観察（3年 NPO）</p>	<p>○英語教育少人数指導&ALT 2名配置</p> <p>◇ゲストティーチャーを招いての出前講座：牛久の自然の生かし方、病院づくり案への助言（1学年 NPO）</p> <p>◇職場体験のまとめ（第2学年）</p>	<p>◎放課後カッパ塾</p> <p>○土曜カッパ塾</p> <p>○日曜カッパ塾</p>
10	<p>◎小規模特認校市内広報</p> <p>◎市民運動会</p> <p>◎おくのキャンパス推進委員会</p>	<p>○イングリッシュルーム</p> <p>○PTA研修委員会主催保護者英語研修</p> <p>◇奥野地区自然探索（4年 NPO）</p> <p>◇奥野地区生涯学習センター奉仕活動（4年）</p> <p>◇奥野地区歴史・文化探索（5年 市文化芸術課）</p> <p>◇キャノンピオトープ観察（3年 NPO）</p>	<p>○英語教育少人数指導&ALT 2名配置</p> <p>○放課後カッパ塾（木曜日：英語）</p> <p>◇おくのふれあいまつり準備計画（1, 2学年）</p> <p>◇まちづくり草案の検討（3学年）</p>	<p>◎放課後カッパ塾</p> <p>○土曜カッパ塾</p> <p>○日曜カッパ塾</p>
11	<p>◎おくのふれあいまつり</p> <p>◎おくのふれあいまつり・奥野っ子ステージ</p> <p>◎オープンキャンパス</p>	<p>○奥野っ子ステージ成果発表（1, 2, 6年）</p> <p>○オレンジ市生徒ビデオ交流（オレンジ市生徒：次年度ホームステイ生徒の自己紹介、6年児童：給食紹介）</p> <p>○イングリッシュタイム</p> <p>◇奥野っ子ステージ成果発表（3, 4, 5年）</p>	<p>○英語教育少人数指導&ALT 2名配置</p> <p>○放課後カッパ塾（木曜日：英語）</p> <p>◇ゲストティーチャーを招いて出前講座：エネルギー政策とソーラーパネルについて（1学年 市環境政策課職員）</p> <p>◇ゲストティーチャーを招いて出前講座：地域に暮らす高齢者の現状（1学年 牛久市地域支援包括センター職員）</p> <p>◇保育園との交流事業（2学年）</p> <p>◎一日体験入学（6学年 34名）</p> <p>◎交流活動</p>	<p>◎放課後カッパ塾</p> <p>○土曜カッパ塾</p> <p>○日曜カッパ塾</p>
12	<p>◎東京大学大桃ゼミ大学院生視察</p> <p>◎オレンジ市生徒ホームステイ・ホストファミリー説明会</p> <p>◎小規模特認校制度による利用者募集</p> <p>◎小中合同研修会</p> <p>◎評価アンケート</p> <p>◎おくのキャンパス推進委員会</p>	<p>○全校イングリッシュタイム（ALT+筑波大留学生 PTA授業参観）</p> <p>○筑波大留学生交流会（5年）</p> <p>○イングリッシュタイム</p> <p>○イングリッシュルーム</p> <p>◇各活動まとめ</p>	<p>○英語教育少人数指導&ALT 2名配置</p> <p>○ブリティッシュヒルズ英語宿泊体験（2学年）</p> <p>○放課後カッパ塾（木曜日：英語）</p> <p>◇職業人（救命救急士）講話（2学年）</p> <p>◇「かっぱ大交流会」に向けてまちづくりへの提言作成（1学年）</p> <p>◇『『おくの』から発信するまちづくり』内容のまとめ（3学年）</p> <p>◇各活動のまとめ</p>	<p>◎放課後カッパ塾</p> <p>○土曜カッパ塾</p> <p>○日曜カッパ塾</p>
1	<p>◎おくのキャンパス推進委員会</p>	<p>○イングリッシュタイム</p> <p>○イングリッシュルーム</p>	<p>○英語教育少人数指導&ALT 2名配置</p> <p>○放課後カッパ塾（木曜日：英語）</p>	<p>◎放課後カッパ塾</p> <p>○土曜カッパ塾</p> <p>○日曜カッパ塾</p>
2	<p>◎コミュニティ・スクール推進委員会</p> <p>◎小中合同研修会</p>	<p>○イングリッシュタイム</p> <p>○イングリッシュルーム</p>	<p>○英語教育少人数指導&ALT 2名配置</p> <p>○放課後カッパ塾（木曜日：英語）</p> <p>○日曜カッパ塾担当者会議</p>	<p>◎放課後カッパ塾</p> <p>○土曜カッパ塾</p> <p>○日曜カッパ塾</p>
3	<p>◎第1回学校運営協議会</p>	<p>○イングリッシュタイム</p> <p>○イングリッシュルーム</p>	<p>○英語教育少人数指導&ALT 2名配置</p> <p>◎各活動のまとめ</p> <p>◎次年度の計画</p>	<p>◎放課後カッパ塾</p> <p>○土曜カッパ塾</p> <p>○日曜カッパ塾</p>

6 事業の成果

(1) 児童・生徒数の変容 (H28年度 小規模特認校試行)

① H28年度 小規模特認校試行 (H28.4~12)

奥野小学校	191名[小規模特認校による転入 7名(小1:4名 小3:1名 小4:1名 小5:1名)]
牛久第二中学校	90名[小規模特認校による転入 4名(中1:3名 中2:1名)]

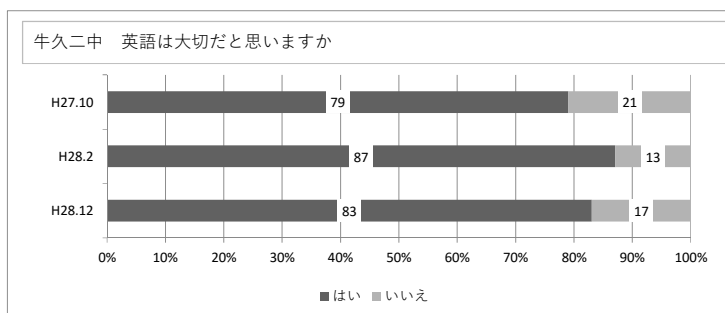
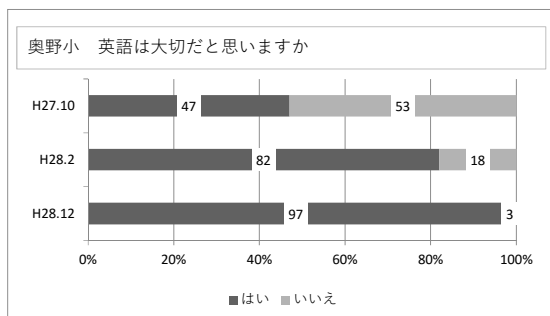
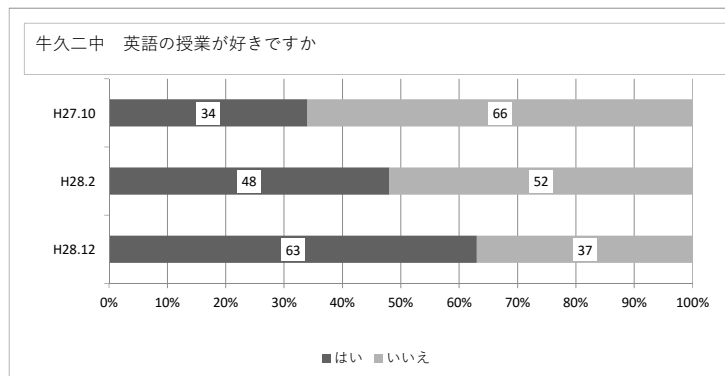
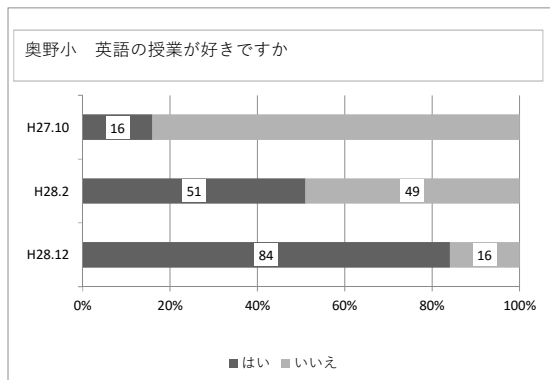
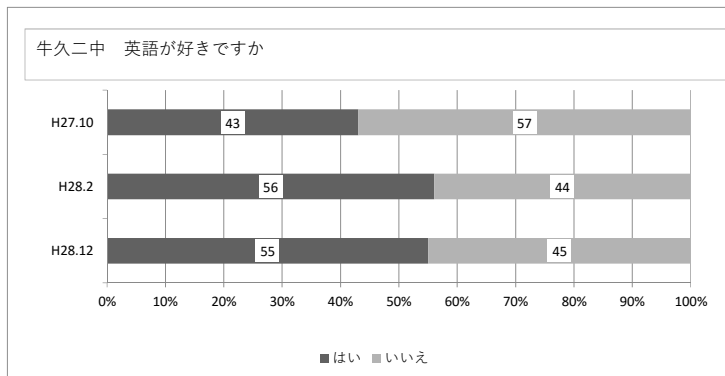
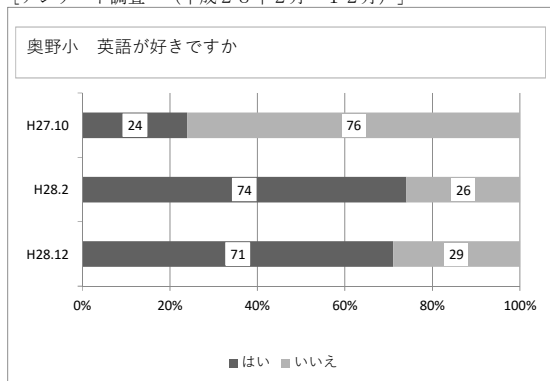
② H28年度 オープンキャンパス参加者 (H28.11.18~12.20)

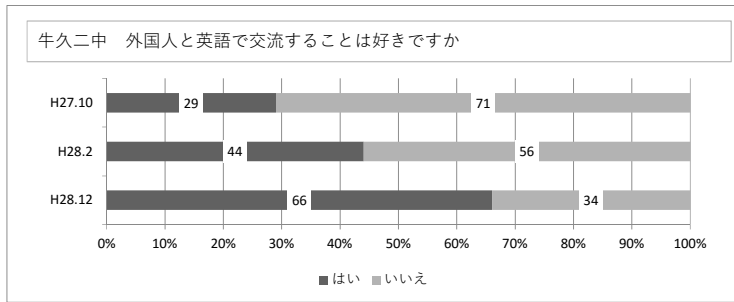
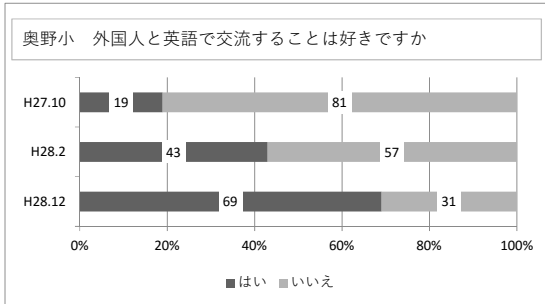
奥野小学校	18名[年長:5名 小1:4名 小2:5名 小3:2名 小4:1名 小5:1名]
牛久第二中学校	3名[小6:1名, 中1:2名]

(2) 児童・生徒の変容

① 国際理解教育について

[アンケート調査 (平成28年2月・12月)]





<英語検定受験者>

- ・奥野小 H27:受験者 1人, 合格者 0人 → H28:受験者 7人, 合格者 5人
- ・二中 H27:受験者40人, 合格者10人 → H28:受験者42人, 合格者10人

[国際理解教育についての考察]

○奥野小

・「英語の授業が好き」という項目が大きく伸びている。週3回のイングリッシュタイムを継続し、2人のALTと2人の英語ボランティアから楽しくイングリッシュタイムの授業を進めてもらったことが、この項目の伸びの要因であると考えられる。

・「外国人と英語で交流することが好き」という項目が大きく伸びている。イングリッシュタイムと共に、イングリッシュルームを設置し、ALTと常時交流する機会をもてるようにしたことが、この項目の伸びの要因に結びついたと考えられる。

・「英語は大切だと思う」の項目が伸びている。オーストラリアオレンジ市生徒とのスカイプによる交流等を通じて、英語を話すことの必要感が高まったことが、この項目の伸びの一因であると考えられる。

・保護者の要望からPTA研修委員会主催の「英語研修」が行われる等、保護者の英語に対する意識高揚も「英語は大切である」の項目の伸びにつながったものと考えられる。

・「英語が好きですか」の項目が大きく伸びた後、微減している。英語への苦手意識がまだあることが考えられる。このことから、一層、英語での会話やゲームの場面において、英語を活用した成功体験を積み重ねたい。

○牛久二中

・「英語の授業が好き」という項目は、前回に比べ上昇している。しかし、「英語が好き」と答える生徒が半数であることから、本質的な部分で課題がある。授業の楽しさから、英語に対する好感度を上げていく不断の努力が求められる。

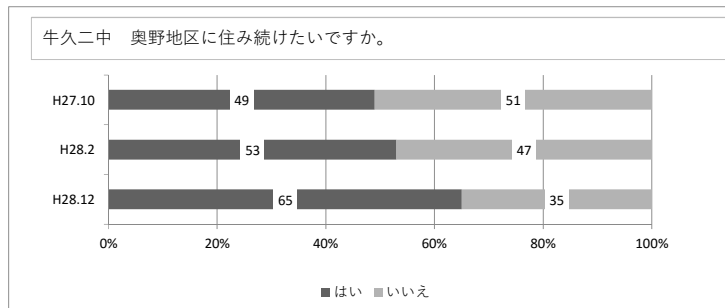
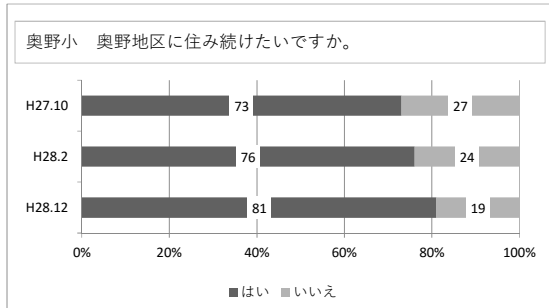
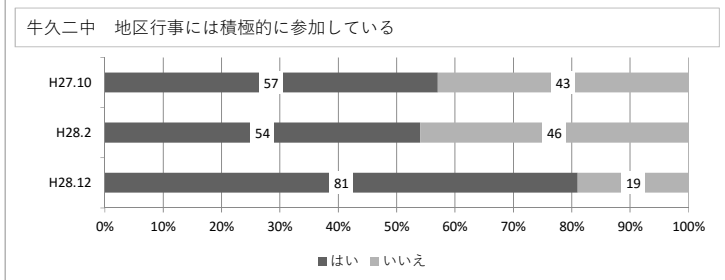
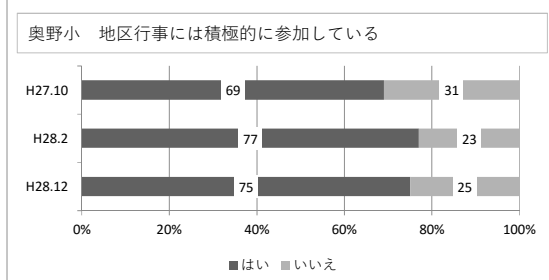
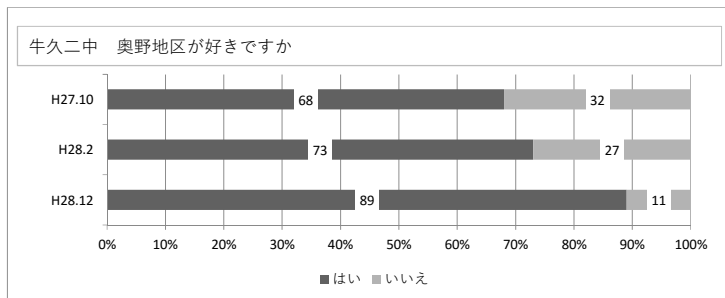
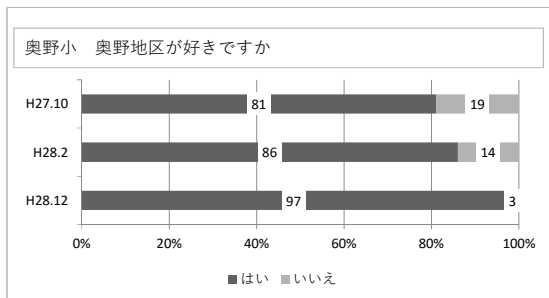
・「英語は大切だと思う」の項目については、全体の8割の生徒が「大切だ」と感じており、よい傾向にあると考える。ダウンした5ポイントを回復するためには、英語を使ってコミュニケーションをとる場面、とらざるをえない場面を意図的に何度も設定していくことで、その必要性を実感させていくことが必要と考える。

・「外国人と交流することが好き」と答えた生徒が増えている。これは、ひとえにALTの2人のおかげである。生徒にとって一番身近な外国人がALTの2人である。その2人が授業で生徒一人一人ととてもよく関わってくれている。また、授業外でも、生徒との交流をもってくれており、これらのことが「外国人と話す」ことの抵抗をなくすことに貢献しているものと思われる。

・外国人との交流について、数値を80%台にまで押し上げていくためには、ALTが2人配置された中での少人数指導を実践し、生きた英語にふれ、英会話が成立する成功体験を数多く積み重ねることで、その意識が大きく変わると考える。また、この2人だけでなく、いろいろな外国人と英語を駆使してコミュニケーションをとる場面を設定していくことで、その楽しさが味わえるようにする必要があると考える。そのため、市内のALT全員と英会話で交流する場面やブリティッシュヒルズのような整えられた環境に赴く機会を設けていくことが、その解決策になるのではないかと考える。

② ESDについて

[アンケート調査 (平成28年2月・12月)]



[ESDについての考察]

○奥野小

・「奥野地区が好き」「奥野地区に住み続けたい」という項目が伸びている。ESDを視点とした総合的な学習の時間での環境・郷土学習や生活科での生き物の学習等をNPOや地域団体の支援を受けて計画的に実施したが、この項目の伸びにつながったものと考えられる。

・「奥野地区が好き」「奥野地区に住み続けたい」という項目の伸びについては、「奥野っ子ステージ」での発表活動や地域住民の手による日曜カップ塾等での多様な体験活動への参加も要因にあると考えられる。

・「地区行事に積極的に参加している」の項目が微減している。行事が土、日曜日に開催されることから、参加できないことが考えられる。このことから、保護者等への呼びかけも強化し、地域行事への参加をうながしていきたい。

○牛久二中

・「奥野地区が好き」「奥野地区に住み続けたい」という項目が伸びている。ESDを視点とした総合的な学習の時間での「ふるさと奥野」まちづくり構想や地域に生きる人等の学習をNPO法人や地域団体の支援を受けて計画的に実施していることが、この項目の伸びにつながったものと考えられる。

・「地域行事に積極的に参加している」の項目が伸びている。市民体育祭への児童・生徒の参加やおくのふれあいまつりの開催、生徒による地区別ボランティア活動の実施など地域と協働する活動が活発になってきている。学校からは、区長をはじめ地域の方々や地区団体の担当者に、「児童・生徒に地域の一員としての役割を担い、ふるさと奥野の一員としての意識を高めたい。」「自分の地域に住む児童・生徒を知って、見守ってほしい。」といった活動のねらいを説明している。

また、奥野小・牛久二中のOBや地域住民でつくる団体と牛久二中の吹奏楽部が一緒になってコンサートを開くなど、地域の文化活動の活性化に貢献することもできた。区長からは、市長とのタウンミーティングで話題となった「山百合の里」構想への中学校の参加依頼があるなど、地域と学校が一緒になって子どもを育て、奥野地区のまちづくりに学校を組み込んでいく動きが見られるようになってきた。

(2) 成果物等

- ・平成28年度第1回牛久市少子化・人口減少社会に対応した活力ある学校教育推進協議会要項・議事録
- ・平成28年度第2回牛久市少子化・人口減少社会に対応した活力ある学校教育推進協議会要項・議事録
- ・冊子「少子化・人口減少社会に対応した活力ある学校教育推進事業 平成27～28年度報告」
- ・「おくのキャンパス」パンフレット

(3) 今後の取組予定

- ・保育園から小学校、中学校への英語教育の接続プログラム。
- ・社会教育(土曜カップ塾、日曜カップ塾)と連携した英語教育及び国際理解教育の充実。
- ・福島県ブリティッシュヒルズでの宿泊体験(英語学習)
- ・ESD教育の充実(小中一貫による、9年間を見通した総合的な学習の時間の在り方)
- ・姉妹都市オレンジ市の学校との日常的な交流。
- ・平成29年度より小規模特認校制度の正式実施。
- ・ユネスコスクールとして国内外の学校との交流。
- ・コミュニティ・スクールとして、「地域とともにある学校」を推進。